

令和3年度外来種対策事業
(昆虫類・クモ類・植物対策)

報 告 書

令和4年3月

沖縄県 環境部 自然保護課

－ 目 次 －

1. 事業概要	1
1-1. 事業目的	1
1-2. 事業期間	1
1-3. 実施地域	1
1-4. 発注者	1
1-5. 請負者	1
1-6. 事業内容	1
2. ヒアリ等のモニタリング	2
2-1. 目的	2
2-2. 調査方法及び調査場所等	2
2-3. 調査結果	9
2-4. 過年度との比較	12
3. GC-MS（ガスクロマトグラフ質量分析計）によるヒアリ検出	23
3-1. GC-MSによるヒアリの毒性物質の検出	23
3-2. 作業の効率化や迅速化に向けた調査方法の検討	23
3-3. 令和3年度ヒアリモニタリング調査サンプルの分析	35
4. 関係者向け同定研修	42
4-1. 開催状況	42
5. 他の昆虫類・クモ類・植物の緊急防除の検討	44
5-1. 国道332号線沿いにおけるトビイロケアリ（国内外来種）の再調査	44
6. 作業部会の設置・運営	46
6-1. 令和3年度外来種対策事業（昆虫類・クモ類・植物対策）作業部会の設置	46
6-2. 第1回外来種対策事業（昆虫類・クモ類・植物対策）作業部会の開催	48
6-3. 第2回外来種対策事業（昆虫類・クモ類・植物対策）作業部会の開催	49

1. 事業概要

1-1. 事業目的

沖縄県が平成 21 年度に策定・公表した「沖縄 21 世紀ビジョン」では、めざすべき将来像として、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にす島」を目標の 1 つとしており、多くの固有種や希少種が生息する生物多様性に富んだ自然環境が守られていることを県民が望む将来の姿としている。しかしながら、県内においては、既に様々な外来種が侵入し、一部定着が確認されている。それらの状況を踏まえ、令和元年度までに、「沖縄県外来種対策指針」（以下「指針」という。）、「沖縄県対策外来種リスト」（以下「外来種リスト」という。）及び「沖縄県外来種対策行動計画」（以下「行動計画」という。）を策定し、本県の外来種対策を推進するための基盤整備を図った。

本業務は、本県の生態系を保全するため、指針や行動計画等に基づき、外来種（昆虫類・クモ類・植物対策）への対策を実施したものである。

1-2. 事業期間

令和 3 年 4 月 12 日～令和 4 年 3 月 31 日

1-3. 実施地域

業務実施地域は、沖縄県内であり、沖縄島、石垣島、宮古島で実施した。

1-4. 発注者

沖縄県 環境部 自然保護課

1-5. 請負者

一般財団法人沖縄県環境科学センター 代表理事 諸喜田 茂充

1-6. 事業内容

本事業の概要を下表に示す。

項目	取組概要
主要港湾等におけるヒアリ等のモニタリング調査	県内の港湾や空港の周辺を中心として、ヒアリやハヤトゲフシアリ等の外来アリのモニタリング調査。
ヒアリのモニタリング調査	誘引剤トラップによるヒアリのモニタリング調査。10,000 地点以上。年 1 回、秋季（10～11 月）に実施。
ハヤトゲフシアリ等の監視	掃除機等を用いたアリ類の吸引・採集によるハヤトゲフシアリ等の侵入監視。1,000 地点以上。年 1 回、秋季（10～11 月）に実施。
関係者向け同定研修会	県内 3 か所において、関係機関の職員を対象として同定研修会を開催（緊急事態宣言解除後の 11 月）。
その他（他の昆虫類・クモ類・植物の緊急防除の検討）	令和 2 年度に那覇空港付近で発見されたトビイロケアリの再調査を実施。
作業部会の開催・運営	学識経験者等で構成する作業部会を 2 回開催。